

# 企画情報部報 (平成二十年度)

## 国際研究集会

第三十二回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「オリジナル」の行方—文化財アーカイブ構築のために—(担当 企画情報部)を、平成二十年十二月六日(土)から十二月八日(月)の日程で東京国立博物館平成館大講堂を会場として開催した。

## オーブンレクチャー

第四十二回オーブンレクチャー「人とモノの力学」を研究所セミナー室において左記のとおり開催した。

十月三日(金) 午後一時三十分～四時三十分

鬼子母神の源流をたずねる

勝木言一郎

クチャ地域の石窟に描かれた供養者像とその信仰について

名古屋大学 中川原育子

十月四日(土) 午後一時三十分～四時三十分

写真のなかの芸術家たち—黒田清輝を中心に—

田中 淳

明治十年・西南戦争と上野公園地図

文星芸術大学 青木 茂

## 黒田清輝共催展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝共催展(近代日本洋画の父 黒田清輝展)を、平成二十年七月十九日(土)から八月三十一日(日)まで、神戸市立小磯良平記念美術館で開催した。

## 特集陳列

国際研究集会の関連企画として、平成二十年十月九日(木)から平成二十年十二月二十五日(木)まで黒田記念館において「《湖畔》VS《湖畔》—福田美蘭《湖畔》展示—」を開催した。

平成二十一年三月十九日から七月九日まで黒田記念館において、特集陳列「写された黒田清輝II」を開催した。

## 研究会

四月二十二日

文化財情報の発信と連携について—検索サイト「AIC」と「想—IMAGINE」を事例に—

東京国立近代美術館 水谷長志

国立情報学研究所 丸川雄三

五月七日

五姓田派デッサン群の明滅 黒田記念館蔵  
満谷国四郎デッサン群を支点として

神奈川県立歴史博物館 角田拓朗

満谷国四郎の画業における、黒田記念館蔵

デッサン群の位置について 岡山県立美術館 廣瀬就久

コメンテーター 岡山大学 赤木里香子

倉敷市立美術館 杉野文香

五月九日

ウィット・ライブラリと美術研究所  
—その始まり、そして今日—

山梨絵美子

「オリジナル」であることをめぐって

関西学院大学 加藤哲弘

五月二十八日

「国風文化論」再考のための試論  
法勝寺八角九重塔の四面大日如来像—長勢・円勢  
作の安置仏は現存するか—

滋賀県立大学 富島義幸

コメンテーター 清泉女子大学 山本 勉

六月二十七日

「天狗草紙」の作画工房  
—鎌倉南北朝絵巻研究を捉え直すために—

有島生馬とフォトグラファー田中敏男 田中 淳

藤雅三《破れたズボン》再発見報告 愛知県美術館 高橋秀治

十月八日

美術館とオリジナル

十一月二十二日 青邨・GUTAI・福田美蘭  
―コンテンポラリーアートをめぐる問題― 森下正昭  
―国際シンポジウムに向けて― 塩谷 純

十二月二十二日 室町肖像画の型 成城大学 相澤正彦

一月十四日 国際研究会の総括

二月二十五日 アナログ編集者は、なぜデジタル編集について

いけなくなったか―主に横浜トリエンナーレ

08のカタログをめぐって― 和光大学 三上 豊

刊 行 物

『平等院鳳凰堂 仏後壁 調査資料目録―カラー画像編―』 平成二十年十二月

『日本美術年鑑 平成十九年版』 平成二十一年三月

『昭和期美術展覧会の研究』 平成二十一年四月